

## ＜令和7年度 研修事業 受講者数 受講者の声＞

令和7年度、当教育センターでは、学校や地域の中核となる教職員の育成および指導力の向上を目指し、研修・協議会等を開催しました。

【受講者数】 ※ 延べ人数として集計

研究種別	受講者数
専門研修（管理職研修，授業改善等研修，課題別研修）	392 名
担当者研修・協議会（教育課程研究協議会・教務担当者研究協議会等）	636 名

【受講者の声（一部抜粋）と研修の内容等】

### ① 専門研修（管理職研修，授業改善等研修，課題別研修）

- 「同僚性」が教職員の心理的安全性や学校の組織力を高めることにつながるということを改めて感じた。（管理職研修Ⅲ）
- 管理職として何を意識し、教職員とどのように関わっていくべきか、改めて考えるきっかけとなった。（管理職研修Ⅵ）
- 主体的に学びを深めることができるような授業を考え、取り組んでいきたい。（授業改善Ⅰ）
- 単元のどこでICTを活用していくのかなど、計画的に授業づくりを行うことが大切だと感じた。（授業改善Ⅱ）
- 本研修を通じ、問題を発見し解決する学習過程を充実させることが大切だと学んだ。（授業改善Ⅲ）
- テーマを明確にもって話を聞くことができたので、2時間ほどの研修の中で達成感が感じられた。（生徒指導Ⅱ）
- いじめに対する学校側の意識を、全職員で共通理解して取り組むことの大切さを確認できた。（生徒指導Ⅲ）
- 読み書きに困難がある児童への支援に取り入れたい内容が多くあった。（特別支援教育Ⅰ）
- 特別支援教育を推進するために、管理職はじめ周りの先生方の協力が必要だと改めて感じた。（特別支援教育Ⅱ）
- 子どもの行動から「できること」に焦点を当て、指導法を導き出すことの魅力を感じた。（特別支援教育Ⅲ）

### ② 担当者研修・協議会（教育課程研究協議会・教務担当者研究協議会等）

- コミュニケーションを取る機会がたくさんあり、まわりの方と仲を深められてとても楽しかった。（新採用教諭研）
- スタートカリキュラムから幼稚園や小学校の指導について話し合えたことが有意義だった。（幼保小連携）
- 教職員間の対話を通じて教育課程と学校運営の改善に継続的に取り組んでいきたい。（教務担当研）
- AIで分析してまとめて提示する手法は、今後、様々な場面で利用することができると感じた。（道徳教育）
- 言葉や行動の表面だけでなく、その裏に隠れた辛さや苦しみに耳を傾ける姿勢が必要であると感じた。（養護教諭研）
- 1単位時間よりも単元全体を考えて授業を構築していかなければならないことを学んだ。（教育課程研）

### ③ 訪問研修および授業改善アクションプロジェクトの主な内容

- 「特別支援教育」チーム学校で取り組むこれからの特別支援教育について
- 複式教育の概要および複式授業のポイントについて
- ユニバーサルデザインの視点による授業づくり ～インクルーシブ教育の現状について～
- 「学びのUD化の必要性」 ～UD化を進めるポイントと具体例～